

## 第5回日韓空間情報フォーラム2022 開催報告

本フォーラムは、2008年から日韓両国の測量技術者をつなぐ技術交流会として毎年1回のペースで開催地を日本と韓国の相互に定めて対面形式で実施しており、2017年から「日韓空間情報フォーラム」と名称を変え5回目となります。新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響を受け、一昨年度は中止を余儀なくされましたが、昨年度は当協会を本部としたWeb会議システム（Zoom）により開催され、今年は3年ぶりに対面形式を復活させて、11月3日に韓国にて韓国国土交通部主催イベント「SmartGeoExpo2022」（会場：京畿道高陽市の大型イベント施設「KINTEX」）に組み込まれる形で開催されました。

発表は昨年同様に、日本側の発表には韓国語、韓国側の発表には日本語の字幕を挿入した発表動画を共有し、逐次通訳によって活発なディスカッションが実現しました。

本フォーラムを通じて両国の最新の取り組みをお互いに共有・吸収することにより、参加者の視野と技術者間ネットワークが広まり、さらに民間における空間情報産業の発展の場ともなるよう今後も開催継続を検討していきます。

運営に携わった空中計測・マッピング部会の皆様並びに通訳等でご尽力いただいた皆様にあらためまして御礼申し上げます。

1. 行 事 名：第5回日韓空間情報フォーラム2022
2. 日 程：2022年11月3日（木）
3. 場 所：大韓民国京畿道高陽市 KINTEX
4. 参加人数：日本側13名（内、Web4名）、韓国側約30名（内、Web2名）
5. 主 催：韓国情報産業協同組合、ソウル市立大学空間情報研究センター、韓国技術士会  
公益財団法人日本測量調査技術協会（空中計測・マッピング部会）
6. プログラム

時 間	内 容	所 属・氏 名	司 会・通 訳
13:30～13:40	開会挨拶（韓国側）	韓国空間情報産業協同組合 専務 チョン・ジャンウン	崔允秀 金恩旭
	開会挨拶（日本側）	（公財）日本測量調査技術協会 専務理事 川久保雄介	
13:40～13:45	祝辞	測量・地形空間情報技術士会 会長 ベ・サンテ	
13:45～13:50	祝辞	韓国国土地理情報院 院長 チョ・ウソク	
13:50～14:15	ドローンとステレオ・熱映像カメラを用いた多次元空間データ構築システム	空間情報技術(株) 研究チーム長 ファン・インギョ	金宗煥
14:15～14:40	空中写真を用いた三次元数値地形図作成	(株)パスコ 折原雄也	
14:40～15:05	GeoAI基盤の食料安保意思決定支援プラットフォーム	(株)先導ソフト 部長 ソン・スジン	
15:05～15:30	ALBを用いた河川の浚渫対策優先度の検討と3次元河川管理システムの構築	朝日航洋(株) 河合利巳	
15:30～15:50	Coffee Break	休憩	
15:50～16:15	GosLinの紹介—現実と仮想をダイナミックに繋ぐデジタル融合活用事例—	(株)エッチアンドアイ 理事 ハ・ジェオン	崔載永
16:15～16:40	航空レーザ測量を用いた数値図化（地図情報レベル500）の検証	国際航業(株) 八木美鈴	
16:40～17:25	質疑応答・ビジネス討論	（公財）日本測量調査技術協会 空中計測マッピング部会 部会長 大鋸朋生	金恩旭
17:25～17:30	閉会挨拶	（公財）日本測量調査技術協会 顧問 斉藤和也 ソウル市立大学 教授 チェ・ユンス	



フォーラム終了後の集合写真（日本および韓国の主催者一同）



開催会場 KINTEX



Smart Geo Expo メインゲート



韓国空間情報協同組合 理事長挨拶



国土地理情報院 院長挨拶



日本測量調査技術協会 専務理事挨拶



司会進行 韓国空間情報協同組合 専務理事



発表の様子（韓国側）



発表の様子（日本側）



発表後の質疑応答の様子



Q&Aセッションの様子



閉会挨拶（日本測量調査技術協会 顧問）



閉会挨拶（ソウル市立大学 教授）